

婚姻届

令和 年 月 日届出

長 殿

受理 令和 年 月 日				発送 令和 年 月 日			
第 号				長 印			
送付 令和 年 月 日							
第 号							
書類調査	戸籍記載	記載調査	調 査 票	附 票	住 民 票	通 知	

(1)

(よみかた)	夫 になる人		妻 になる人	
	氏	名	氏	名
	生 年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日

(2)

住 所 (住民登録をしているところ)		
	世帯主の氏名	世帯主の氏名

(3)

本 籍 (外国人は国籍だけを記入してください)	番地 番		番地 番	
	筆頭者の氏名		筆頭者の氏名	
父母及び養父母の氏名 父母との続き柄 (右記の養父母以外にも養父母がいる場合にはその他の欄に書いてください)	父 母	続 き 柄 男	父 母	続 き 柄 女
	養父 養母	続 き 柄 養 子	養父 養母	続 き 柄 養 女

(4)

婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	☐ 夫の氏 ☐ 妻の氏	新本籍（左の☑の氏の人ですでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください） 番地 番
----------------	--	--

(5)

同居を始めたとき	年 月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始めた) ときのうち早いほうを書いてください
----------	--

(6)

初婚・再婚の別	☐ 初婚 ☐ 再婚 (☐ 死別 ☐ 離別 年 月 日)	☐ 初婚 ☐ 再婚 (☐ 死別 ☐ 離別 年 月 日)
---------	---	---

(7)

同居を始める前の夫妻のそれぞれの世帯のおもな仕事と	☐ 夫 ☐ 妻 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 ☐ 夫 ☐ 妻 2. 自営業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 ☐ 夫 ☐ 妻 3. 企業・個人商店等（官公庁は除く）の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数数が1人から99人までの世帯（日々または1年未満の契約の雇用者は5） ☐ 夫 ☐ 妻 4. 3に当てはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の従業員の世帯（日々または1年未満の契約の雇用者は5） ☐ 夫 ☐ 妻 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 ☐ 夫 ☐ 妻 6. 仕事をしている者のいない世帯
	(国勢調査の年… 年…の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください)

(8)

夫 妻 の 職 業	夫の職業	妻の職業
その他		
届出人署名 (※押印は任意)	夫 印	妻 印

事 件 簿 番 号	住所を定めた年月日 夫 年 月 日 妻 年 月 日	連絡先 夫 電話 () 妻 電話 ()
-----------	---------------------------------	-----------------------------

令和 年 月 日	午前 時 分
夫	☐ 免 ☐ 旅 ☐ 個 ☐ その他 ☐ 無 ()
不受理	☐ 有 ☐ 無
通知	☐ 要 ☐ 不要
妻	☐ 免 ☐ 旅 ☐ 個 ☐ その他 ☐ 無 ()
不受理	☐ 有 ☐ 無
通知	☐ 要 ☐ 不要
使者	☐ 免 ☐ 旅 ☐ 個 ☐ その他 ☐ 無 ()
送付	令和 年 月 日

確認	送付

記入上の注意

- 鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。（消えるボールペンは使用しないでください。）
- この届は、閉庁日（土・日曜日・祝日等）や時間外でも届けることができます。（この場合、宿直等で取扱うので、前日までに戸籍担当係で下調べをしておいてください。）
- 届書は1通でさしつかえありません。
- この届書を本籍地でない役場に出すときは、戸籍謄本または戸籍全部事項証明書が必要ですから、あらかじめ用意してください。

※成人2名の証人が必要です。

証 人		
署 名 (※押印は任意)	印	印
生 年 月 日	年 月 日	年 月 日
住 所	番地 番 号	番地 番 号
本 籍	番地 番	番地 番

「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

☐には、婚姻後、名のる氏をどちらにするか☑のようにしるしをつけてください。
外国人と婚姻する人が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合には、新しい戸籍がつくられますので、希望する本籍を書いてください。

再婚のときは、直前の婚姻について書いてください。
内縁のものはふくまれません。

届け出られた事項は、人口動態調査（統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管）にも用いられます。

◎署名は必ず本人が自署してください。

この届書では住所は変わりません。

住所変更がある方は別の手続きが必要となりますので、窓口へお申し出ください。